

令和 7 年

安全功労者内閣総理大臣表彰

令和 7 年 7 月 1 日

内閣府大臣官房総務課

令和7年安全功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿

(分野別五十音順)

(交通安全関係)

〔個人〕

大西良和	(警察庁)
出嶋巖	(内閣府)
土井茂人	(警察庁)
中島和幸	(警察庁)
兵藤喜美子	(内閣府)
牧野克則	(警察庁)
三橋淳志	(警察庁)
山口和昭	(警察庁)
渡邊勇悦	(国土交通省)

〔団体〕

一関市立新沼保育園	(内閣府)
山口県交通安全母の会	(内閣府)

(学校安全関係)

〔団体〕

愛媛県東温市立東谷小学校	(文部科学省)
大阪府立北摂つばさ高等学校	(文部科学省)
香川県丸亀市立栗熊小学校	(文部科学省)
鹿児島県志布志市立通山小学校	(文部科学省)
広島県海田町立海田南小学校	(文部科学省)
北海道南富良野町立南富良野小学校	(文部科学省)

(産業安全関係)

〔個人〕

飛原英治	(経済産業省)
------	---------

〔団体〕

株式会社ADEKA富士工場	(厚生労働省)
---------------	---------

(火災予防関係)

〔個人〕

藏 菌	多鶴子	(消 防 庁)
原	裕 子	(消 防 庁)
山 田	幸 雄	(消 防 庁)

〔団 体〕

公益社団法人さいたま市防火安全協会	(消 防 庁)
中津川市連合女性防火クラブ	(消 防 庁)
はねかわ太陽認定こども園幼年消防クラブ	(消 防 庁)

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	おおにし よしかず 大 西 良 和
住 所	愛媛県松山市
主 要 経 歴 等	松山東交通安全協会副会長
功 績 の 概 要	昭和 48 年から 52 年の長期にわたり、松山東交通安全協会素鷲支部役員等として、常に地域の交通安全を第一に考え、交通安全活動に尽力している。交通安全協会役員として活動を開始してからは、地域での交通安全指導、街頭広報活動を積極的に実施するほか、松山東交通安全協会の理事や副会長を歴任、また、松山市交通指導員や松山東地区地域交通安全活動推進委員としても活動しており、地域全体の交通安全意識の高揚に多大に貢献した。平成 23 年からは、松山東交通安全協会副会長として、地域の牽引的役割を果たし、各種会議で交通安全意識の向上を訴えるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	でじま いわお 出 嶋 巖
住 所	石川県河北郡内灘町
主 要 経 歴 等	内灘町防犯と交通安全推進隊大清台地区隊長
功 績 の 概 要	昭和 54 年から 46 年の長期にわたり、内灘町防犯と交通安全推進隊大清台地区隊長等として、通学路における学童の街頭保護誘導活動に従事し、献身的な交通事故防止に取り組んだ。また、日頃から、交通安全施設の整備と点検に努めるとともに、地域住民に対して飲酒運転防止、シートベルト・チャイルドシートの着用などを呼びかけた。さらに、地域の交通安全行事等にも積極的に参加し、住民に対して実践的な指導を行うなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	どい しげと 土 井 茂 人
住 所	北海道釧路郡釧路町
主 要 経 歴 等	釧路安全運転管理者協会会長
功 績 の 概 要	平成 17 年から 20 年の長期にわたり、釧路安全運転管理者協会の副会長、会長として、安全運転管理者選任事業所に対する安全指導や安全運転管理に必要な調査研究等に取り組んできた。また、各種安全運動に積極的に参加するとともに、自主的に高齢者世帯に訪問し、交通指導を行うほか、商業施設周辺において、中高生に対する街頭指導や、住民等に交通事故の防止を呼びかけて実践的指導を行った。平成 23 年からは、同協会会長として、関係者や知人を通じて協会への加入を促進し、会員数を着実に増加させるなど交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	なかしま かずゆき 中 島 和 幸
住 所	佐賀県佐賀市
主 要 経 歴 等	佐賀南地区交通安全協会理事
功 績 の 概 要	昭和 63 年の佐賀市立巨勢小学校 P T A 会長就任を機に、通学路における街頭指導を現在まで精力的に行い、また平成 16 年から 21 年の長期にわたり、佐賀南地区交通安全協会（旧佐賀地区含む）の理事として、地域住民に交通事故防止を呼びかけるなど、交通安全活動、啓発活動等に積極的に取り組んでいる。さらに、平成 29 年からは、まちづくり協議会地域安全安心部会において、警察官、交通指導員、市生活安全課職員等を招致し、交通安全講話を定期的の実施するなど交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	ひょうどう きみこ 兵 藤 喜美子
住 所	岐阜県可児市
主 要 経 歴 等	可児市交通安全女性連絡協議会会長
功 績 の 概 要	昭和 58 年から 42 年の長期にわたり、可児市交通安全婦人（現「交通安全女性」）連絡協議会役員、可児市交通安全女性連絡協議会会長及び可児地区交通安全協会役員として、長年にわたり地域の交通安全行事に積極的に従事し、通学・通勤路での街頭指導や児童、高齢者に対する交通安全指導を始め、住民等に交通事故防止を呼びかけるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	まきの かつのり 牧 野 克 則
住 所	愛知県常滑市
主 要 経 歴 等	公益社団法人愛知県安全運転管理協議会副会長
功 績 の 概 要	平成 13 年から 24 年の長期にわたり、常滑安全運転管理協議会会長として、協議会運営の先頭に立ち、地元の関係機関・団体と連携して、街頭キャンペーン等各種の交通安全啓発活動を積極的に推進した。また、平成 17 年から愛知県安全運転管理協議会副会長等として、県内企業・事業所における安全運転管理のレベルアップを図り、交通安全に関する広報啓発、教養資料の発行等を通じて、県全体の職域・地域における交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	みはし あつし 三 橋 淳 志
住 所	東京都荒川区
主 要 経 歴 等	尾久交通安全協会会長
功 績 の 概 要	昭和 60 年尾久交通安全協会に入会以来、40 年の長期にわたり積極的に交通安全活動に尽力しているものである。平成 11 年尾久交通安全協会常任理事に就任後、同協会副会長を経て、平成 20 年同協会会長に就任した。同協会会長として、「安全安心の街 尾久」という理念の下、積極的に傘下団体、町会、関係機関に対し、地域の交通安全について呼び掛けを行うなど交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。 その後、平成 29 年東京都交通安全協会理事、令和 6 年同協会副理事長及び東京交通少年団団長に就任、それらを兼務し、現在に至っている。この間、地域の交通事故抑止に貢献しているもので、その姿は他の模範となっており、地域住民や関係団体から大きな信頼を得ている。

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	やまぐち かずあき 山 口 和 昭
住 所	神奈川県横浜市
主 要 経 歴 等	一般社団法人神奈川県安全運転管理者会連合会 副会長
功 績 の 概 要	平成 7 年から 30 年の長期にわたり、加賀町安全運転管理者会会長等として会員事業所の交通事故防止に尽力するとともに、地域における交通安全活動を推進し、住民の交通安全意識の向上に貢献した。 また、平成 27 年から一般社団法人神奈川県安全運転管理者会連合会副会長等を務め、県域における活動にも携わり、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	国土交通省
氏 名	わたなべ ゆうえつ 渡 邊 勇 悦
住 所	山形県酒田市
主 要 経 歴 等	主任海上安全指導員
功 績 の 概 要	昭和 60 年 7 月 1 日、海上安全指導員に指定されて以来、現在に至るまで 40 年の長期にわたり、ボランティアとしてプレジャーボート等の小型船舶を中心に安全指導を行うとともに、海難防止講習会など海難事故防止に係る教育にも積極的に参画し、運航マナーの向上と安全で秩序ある海洋レクリエーションの発展に寄与してきた。 また、平成 10 年に主任海上安全指導員に指名され、現在に至るまで豊富な経験と知識及び指導力をもって海難防止活動を積極的に推進し、小型船舶の海難防止思想の普及に努めるとともに、後進の育成にも多大なる貢献を果たしてきた。

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	いちのせきしりつにいぬまほいくえん 一関市立新沼保育園
所 在 地	岩手県一関市
代 表 者	さとう せいこ 園長 佐藤 聖子
功 績 の 概 要	市交通指導員や地区交通安全協会指導員による年3回の交通安全教室に加え、毎月1回、職員による交通安全指導を実施し、園児の交通事故防止と安全意識の高揚に努め、未就学児からの交通安全教育に尽力した。 また、昭和55年から45年の長期にわたり、園において手作りマスコットを作成し、秋の全国交通安全運動期間中に近隣主要道でドライバー等に配布する「交通安全キャンペーン」に取り組むなど、園を中心に、地域が一体となった活動が展開され、未就学児から小学生、保護者、高齢者までの幅広い世代に対し、交通安全教育や交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	やまぐちけんこうつうあんぜんははのかい 山口県交通安全母の会
所 在 地	山口県山口市
代 表 者	ふじい けいこ 会長 藤井 恵子
功 績 の 概 要	昭和 44 年 3 月から 56 年の長期にわたり、増え続ける交通事故に対し、「交通安全は家庭から」を活動指針として結成され、以来、県内 12 地域における母の会の育成と指導等を進め、県下一円において、運転者の安全意識の醸成と安全運転の励行、歩行者、特に幼児及び高齢者の保護等を目標に、交通安全日における立哨や各種交通安全運動等におけるキャンペーンなど、地域に密着した活動により、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文部科学省
名 称	えひめけん とうおんしりつひがしだにしょうがっこう 愛媛県東温市立東谷小学校
所 在 地	愛媛県東温市
代 表 者	なかした やすし 校長 中下 康
功 績 の 概 要	教育目標「健康で明るく すなおな心で がんばる児童の育成」の下、地域安全ボランティア、まもるくんの家、青色防犯灯車載車による見守り活動等、学校・家庭・地域が連携した学校安全に取り組むとともに年間指導計画に基づいた「命」を大切にする教育を行ってきた。具体的には、地域にある国道での事故がないよう家庭・地域への協力依頼はもとより、教職員の交通安全指導を現地にて行い、児童の交通安全意識を高めた。また、地域の自主防災会とも連携し自助・共助の意識高揚に努め、家庭や地域で生きるよう実践力の向上を図る学習をすすめることにより、安全教育の推進に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文部科学省
名 称	おおさかふりつほくせつつばさこうとうがっこう 大阪府立北摂つばさ高等学校
所 在 地	大阪府茨木市
代 表 者	かわぐち さとし 校長 川口 賢志
功 績 の 概 要	心と身体の安全を両輪に、安心して安全な居場所としての学校づくりを目標としている。心の安全として、平成 23 年度より東日本大震災復興支援現地ボランティア活動を実施。被災地の高校生との交流を通して他者尊重と自己有用感の育成を中心に指導し、その結果「自助」「互助」への行動力だけでなく、「思いやる」、「感謝する」など人間的な成長も見られるようになった。また、身体の安全として交通安全、特に自転車免許について地域ぐるみで指導を充実させ、その結果、「公正である」、「ルールやマナーを守る」意識の向上がみられた。令和 6 年度には、K D D I と連携し、ながらスマホの危険性を体験する実証実験を行った。さらに、「Safety Bicycle 推進校」に指定され、他の推進校と情報交換を積極的行ったり、朝の登校時に校門前で自転車の安全運転について呼び掛けたりするなど、生徒が自ら自転車の安全利用を考え、交通事故の減少に努めるなど安全教育の推進に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文部科学省
名 称	かがわけん まるがめしりつくりくましようがっこう 香川県丸亀市立栗熊小学校
所 在 地	香川県丸亀市
代 表 者	みやもと よしお 校長 宮本 義夫
功 績 の 概 要	学校目標「ふるさと栗熊を大切に想い、自ら行動し、共に生きる子どもの育成」の下、地域の活動等と関連させた「交通安全教育の視点に立った授業実践」、委員会活動を中心として学校の課題から子どもの自発的な行動を引き出し活動した「栗っ子AKB（歩こう・かならず・ぼくわたし）隊による安全な廊下歩行の呼びかけ」や「体育保健委員会によるけがマップの作成」、保護者や地域ボランティアとの連携を図り、自分たちの行動を振り返り活動した「安全な登下校を行うための地区別児童会や登校班班長会」、関係機関との連携を図り、子どもたちの様々な交通場面における危険について理解を深め、実践力を高めた「交通安全教室・自転車教室」や「交通安全・省エネトラック授業」、「校内避難訓練」の参加や計画的な情報モラル授業などを実践することにより、安全教育の推進に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文部科学省
名 称	かごしまけん しぶしりつとおりやましょうがっこう 鹿児島県志布志市立通山小学校
所 在 地	鹿児島県志布志市
代 表 者	しんむら あつし 校長 新村 篤
功 績 の 概 要	教育目標「人間性豊かで創造性に富み、心身ともにたくましい児童を育てる」を掲げ、児童自ら考え、判断し、命を守るための行動ができるよう「段階的な地震・津波避難訓練」を実施した。 また、防災意識を高めるために校区内のフィールドワークによる「タウンウォッチング等の防災学習」、安全体制・防災体制の確立と防災教育を推進する「防災推進委員会」の実施及び、学校と地域が一体となった研修会や避難訓練、防災フェスタの実施など、家庭や地域、関係機関と連携を密にし「地域とともにある学校安全に関する取組」を行ったことにより、安全教育や防災教育の推進、及び地域防災に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文部科学省
名 称	ひろしまけん かいたちょうりつかいたみなみしょうがっこう 広島県海田町立海田南小学校
所 在 地	広島県安芸郡海田町
代 表 者	いしかわ かずあき 校長 石川 和明
功 績 の 概 要	平成 30 年西日本豪雨災害で、裏山からの土砂災害によって被災した経験を基に、学校教育目標「考え 実践する 海田南っ子」の下、自分や自分の大事な人の命を守るために行動する児童の育成を目指し、「ひろしまマイ・タイムライン」の活用、外部人材の招聘等による防災教育を毎年計画的に継続している。その結果、児童だけではなく、その家庭や地域においても災害時の避難行動を考えさせ、実際の避難につなげる等、安全教育、とりわけ、防災教育に多大な貢献をした。 また、学校教育目標と安全教育を通じて目指す姿「全ての児童生徒等が安全に関する資質・能力を身に付ける」と関連付け、さらに防災教育で培った指導を、交通安全・生活安全・新たな危機事象の領域での取組にも広げることで、自分や自分の大切な人の命を守ることを積極的に考えようとする児童が増えると共に、家庭や地域での安全意識の高まりも見られるようになった。

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文部科学省
名 称	ほっかいどう みなみふらのちょうりつみなみふらのしょうがっこう 北海道南富良野町立南富良野小学校
所 在 地	北海道空知郡南富良野町
代 表 者	ばば やすひで 校長 馬場 泰栄
功 績 の 概 要	教育目標「明日を切り拓く 心豊かで たくましい子ども」の下、自然災害に対する正しい判断と適切な行動のできる力を育てることを目指し、関係機関等と連携した「防災訓練」、児童や保護者が緊急時における安全対応について理解する「保護者引渡し訓練」や「安心安全メールの全保護者登録」、北海道実践的安全教育モデル構築事業における、南富良野町防災教育のモデルステップの構築などを行っている。 また、交通事故防止を徹底するため、P T Aや地域防災組織と連携した「交通安全指導」、不審者やS N Sの普及に伴う犯罪被害から身を守ることを目指し、警察や通信事業者と連携した「防犯・安全教室」を実施するなど、安全教育の推進に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔産業安全関係〕

関 係 省 庁	経済産業省
氏 名	ひはら えいじ 飛 原 英 治
住 所	東京都小平市
主 要 経 歴 等	東京大学名誉教授
功 績 の 概 要	産業構造審議会 化学・バイオ部会 地球温暖化防止対策小委員会委員、同審議会製造産業分科会化学物質政策小委員会 フロン類等対策ワーキンググループ座長を歴任。各審議会にて、安全性を確保しつつ、地球温暖化係数の低い冷媒（以下「低GWP冷媒」という。）への転換の実現を目指して尽力した。具体的には、産業用・家庭用冷凍空調機器を対象としてリスク評価を実施し、機器から冷媒が漏洩した時の火災事故の発生確率を算出し、安全性を評価した。その後も、令和3年度から令和5年度まで経済産業省委託事業にて高圧ガス保安協会に設置した「低GWP冷媒等の冷凍設備への充填に係る課題の整理検討調査・検討委員会」にて委員長を務め、冷凍設備の冷媒ガスを代替フロンから低GWP冷媒ガスに入れ替える行為を安全に行うためのガイドライン案をとりまとめるなど高圧ガス保安関連の推進に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔産業安全関係〕

関 係 省 庁	厚生労働省
名 称	かぶしきがいしゃあでか ふじこうじょう 株式会社 A D E K A 富士工場
所 在 地	静岡県富士市
代 表 者	しろづめ ひでたか 代表取締役社長 城 詰 秀 尊
功 績 の 概 要	平成 16 年 8 月 11 日より 20 年 8 ヶ月（令和 7 年 4 月現在）無災害を継続している。協力会社を含め全体で安全組織を構築しており、工場で行き扱う化学物質について、部門ごとにリスクアセスメントの結果に基づいたリスク低減措置等を達成目標に掲げ、達成率を周知することにより、年間を通じて継続したリスクアセスメントを実施している。 さらに、リスク低減措置を実施した場合の改善内容については、安全衛生委員会で共有、社内新聞等で周知することにより、安全意識の高揚を図っている。安全管理者のほか、部門ごとの管理職が毎日職場を巡回し、現場状況の把握、指導を行っており、改善状況は随時工場内で周知が行われている。 また、巡視結果（巡視の日時、エリア、声掛け対象者、指摘事項）はデータベース化され、不安全箇所の事例収集、構内マップ作製等の「見える化」に活用されている。

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	くらどの たづこ 藏 菌 多 鶴 子
住 所	鹿児島県指宿市
主 要 経 歴 等	鹿児島県女性防火クラブ連絡協議会会長
功 績 の 概 要	平成 22 年から鹿児島県婦人防火クラブ連絡協議会（現：鹿児島県女性防火クラブ連絡協議会）副会長、会長に就任して、豊富な識見と卓越した指導力により協議会の育成発展に尽くした。 さらに、令和 5 年には全国女性防火クラブ連合会、一般財団法人日本防火・防災協会の理事にも就任するなど、各種の消防関係団体の要職に就き、会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発に尽力し、地元の成川区はもとより指宿市の消防・防災の指導者として活動しており、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	はら ゆうこ 原 裕 子
住 所	三重県名張市
主 要 経 歴 等	名張市女性防火クラブ連絡協議会会長
功 績 の 概 要	昭和 57 年に「地域で多発する枯草火災を無くそう！」と一念発起し、つつじが丘北 9 番町女性防火クラブを発足させ、43 年の長期にわたり地域の防火、防災訓練の実施に取り組み、また、全国火災予防運動の一環として実施される行事においても自ら先頭に立って啓発活動を実施するなど、地域の防火、防災意識の高揚に努めた。 また、名張市女性防火クラブ連絡協議会会長として、これまで培った経験をもとに市内各クラブに対し助言を行うなど、組織の充実と後継者の育成に尽力した。 また、「奥さま防災博士」の認定を受け、女性目線での地域防災として、身近にあるサラダ油を使用したランタンの作成など災害時に活用できる知識を地域住民に伝達し、家庭からの自助に大きく寄与した。

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	やまだ ゆきお 山 田 幸 雄
住 所	北海道札幌市
主 要 経 歴 等	札幌石油燃焼器具整備業協議会会長
功 績 の 概 要	昭和 49 年の札幌石油燃焼器具整備業協議会発足時から入会し、石油燃焼機器に起因する災害防止と安全確保、防火思想の普及啓発に多大な貢献をした。 平成 18 年には、勤勉実直な人柄と熱心な取組が会員に認められ、同協議会の会長として就任した。その豊富な経験と優れた知識を活かし、数々の事業活動を提唱して実施し、会員の防火意識、点検整備技術の向上を図り、石油燃焼機器からの火災発生防止に努めるとともに、春・秋の火災予防運動等の各種行事への積極的な参加、火災原因調査の技術支援、少年消防クラブの育成支援など、組織を挙げて消防行政に積極的に協力し、さらなる防火思想の普及推進に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	こうえきしゃだんほうじん さいたましぼうかあんぜんきょうかい 公益社団法人さいたま市防火安全協会
所 在 地	埼玉県さいたま市
代 表 者	ありやま よしお 会長 有山 佳男
功 績 の 概 要	昭和 48 年 6 月、火災予防の推進と防火思想の普及啓発及び危険物取扱いの安全管理体制強化促進を目的に設立され、以後、防火思想の普及啓発活動と講習事業を中心に様々な事業を展開してきた。特に、春・秋火災予防運動に合わせ、さいたま市消防局等との共催により、市内小学生を対象とした防火ポスターコンクールを開催し、優秀作品を火災予防運動広報用ポスターとして配布掲示するなど児童を含む多くの市民に対する防火思想の普及啓発に貢献した。また、少年消防団の研修活動等を通じて、青少年の人材育成を図るとともに事業所の新入社員を対象とした防火・防災管理講習等を開催するなど、地域や事業所の防火・防災責任者等の育成により、防火安全の徹底と地域住民に対する防火、防災意識の高揚に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	なかつがわしれんごうじょせいぼうかくらぶ 中津川市連合女性防火クラブ
所 在 地	岐阜県中津川市
代 表 者	いざわ さかえ 会長 伊澤 さか恵
功 績 の 概 要	昭和 42 年から 58 年の長期にわたり、初期消火訓練、救命講習、防火防災講習会を開催し防火・防災意識の向上を図るとともに、大地震等の災害に備えて「空き缶コンロによる炊飯」を普及させる取組みを行い、市内はもとより岐阜県内へクラブ員が講師として出向し、空き缶コンロ炊飯講習会を開催し資質の向上に努めた。 また、住宅用火災警報器設置、取替促進の P R を様々なイベントで実施するなど地域の防火・防災意識の高揚に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	はねかわたいようになていこどもえんようねんしょうぼうくらぶ はねかわ太陽認定こども園幼年消防クラブ
所 在 地	栃木県小山市
代 表 者	すずき りゅうさく 理事長 鈴木 隆作
功 績 の 概 要	昭和 61 年から 39 年の長期にわたり、未来を担う子どもたちに「火災予防の大切さ」を幼少期から深く根付かせることを目的に、栃木県小山市において初めて設立された幼年消防クラブであり、幼児期からの防火・防災教育を継続的に実施している。 また、地域住民の防火意識の向上に寄与するのみならず、市が実施する各種訓練やイベントへの積極的な参加を通じ、防火防災活動の普及啓発に貢献している。さらに、幼年消防クラブの発展に向けた企画の立案などを行い、消防行政の推進に多大な貢献を果たしており、その活動は消防力の強化にも大きく寄与した。

(連絡先)

内閣府大臣官房総務課制度室（公式制度担当）

〒100－8914

東京都千代田区永田町1－6－1

TEL 03－5253－2111（内30941）